

■ 沿革～後志のおいたち

西暦(年)	年号(年)	事項	備考
659	-	阿部比羅夫が蝦夷を討ち、後方羊蹄に郡領を置いたと伝えられる。	
1869	明治2	蝦夷地を北海道と改め、11国、86郡に分割、後志国17郡が置かれる。	
1872	明治5	17郡のうち9郡は開拓使札幌本庁管轄、8郡は函館支庁管轄となる。	
1873	明治6	札幌・小樽間に電信線開通。	
1879	明治12	小樽、古平、岩内、寿都に郡役所が置かれる。	
1880	明治13	小樽(手宮)・札幌間に鉄道開通。	
1882	明治15	開拓使制度の廃止。函館、札幌、根室の3県が置かれ、寿都郡役所は函館県、その他は札幌県管轄となる。	
1886	明治19	3県廃止。北海道庁となる。	
1889	明治22	小樽、古平郡役所合併。	
1897	明治30	郡役所制度が廃止され、寿都、岩内、小樽に支庁が置かれる。	
1899	明治32	虻田郡倶知安村(現倶知安町、京極町)を岩内支庁に編入。	
1904	明治37	北海道鉄道、小樽・函館間が開通。	
1910	明治43	虻田郡真狩村(※1)及び狩太村(※2)を編入し、倶知安町に後志支庁が置かれる。	※1 現在の留寿都村、真狩村、喜茂別町 ※2 現在のニセコ町
2010	平成22	後志支庁の名称を後志総合振興局に変更。	

■ 振興局の主な施策

ShiriBeshiグローバルインターンシップ事業（通称：ShiriBeshi留学）

- ・ 国際性、多様性豊かな後志エリアの地域性を活かし、この地域でのインターンシップと多文化共生の場を通じたグローバルな人材の育成に取り組むことで、意欲的な若者を管内に呼び込み、更なる関係人口の増大を目指す。
- ・ プログラムは企業でのインターンシップを中心に、振興局で事前・中間・事後研修及び多文化共生の場を実施。
- ・ ShiriBeshi留学はこれまで夏と冬の年に2回、計13回開催され、応募者は累計667名、参加者は累計341名となっている。



ShiriBeshiグローバルインターンシップHPはこちらからアクセスできます。



後志地域人材確保・人材誘致推進事業

- ・ しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプラン無料職業紹介所の運営により、リゾート地域で勤務する豊富な人材を後志地域で通年雇用化することで、新たなビジネスの創出や移住人口の拡大に寄与するとともに、市町村や各団体等と連携することにより、世界中の多様な人材（グローバル）×後志地域（ローカル）の中核を振興局が担い、地域の持続的発展を目指す。



マッチングプランのHPはこちらからアクセスできます。

しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプラン無料職業紹介所

後志で働きたい人と企業をつなぐ職業マッチングサービス 当職業紹介所は
北海道で働きながら暮らしてみたい方に後志の地方の仕事を紹介します。 全て無料でご利用頂けます



現在募集中のお仕事の詳細は、しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプラン 公式サイトをご覧ください。
http://www.shiribeshi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/matching/_top.html

■ 後志ロードマップ

